



June

活動報告

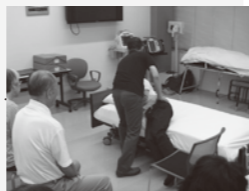
今、センターでは...

会場

- A 京都府医師会館 5F  
京都府医療トレーニングセンター
- B 府医会館 2階
- C 府医会館 3階
- D 府医会館 6階

6月活動報告

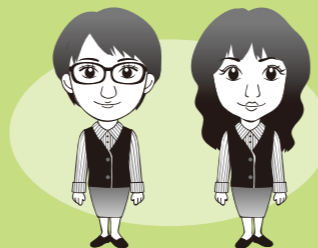
- 6.1(月) 京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター ホームページを開設しました(中面にて紹介しております)
- 6.8(月) H27年度第1回 京都市認知症総合支援事業 アドバイザリーボードに出席しました。  
出席: 關理事・西村理事
- 6.17(水) 家族介護者向け医療的ケア・口腔ケア実践講習会 ~介護で腰が痛くならないために~(市民対象)を開催しました。
- 6.18(木) 独立行政法人 国立長寿医療研究センター共催による「英国式 人生の最終段階におけるケア」ケリー・トーマス教授講演会を開催しました。
- 6.28(日) 第2回 京都小児在宅医療実技講習会(医師対象)を開催しました。



- 7月 7.8(水) 「ご家族向け介護セミナー」(市民対象)  
13:30~15:30 ~身につけよう!床ずれ予防とケアのコツ~ 会場 A
- 7.11(土) 「総合診療力向上講座」(医師対象)  
14:30~16:30 ※中面をご覧ください。 会場 B
- 7.14(火) 平成27年度「ブレントラスト会議」食支援Part  
15:00~16:30 会場 D
- 7.18(土) 京都府医療トレーニングセンター在宅医療実地研修  
14:00~17:00 「在宅でのがん化学療法と副作用の理解」(医療・介護従事者対象) 会場 A
- 7.22(水) 「ご家族向け介護セミナー」(市民対象)  
13:30~15:30 ~あきらめていませんか?尿のトラブル~ 会場 A
- 7.25(土) 生活機能向上研修「ACPIについて」  
14:00~16:00 ~ACPの概念・必要性・普及への取り組み~ 会場 C
- 7.27(月) 第2回 京都市認知症総合支援事業アドバイザリーボード  
14:00~15:30 会場 B

編集後記

先日、比叡山に行ってきました。深緑の中、比叡山を廻り体は疲れましたが、心はリフレッシュしました。延暦寺で朝夕油を注ぎ 1200 年灯り続ける不滅の法灯は、「時間毎のマニュアルで確認しては消えてしまう。マニュアルではなく、みんなで常に気を付けていくことが大事です。」と僧侶からお話があり(油断大敵ですね...)日々、同じことを丁寧に続けることの積み重ねが次の時代につながることに感動しました。在宅医療・地域包括ケアサポートセンターの取り組みも一つ一つを大事にし、次の時代につながるようにスタッフ一同頑張っていきます。



在宅医療・地域包括ケアサポートセンターnewsでは、様々な研修や在宅医療・地域包括ケアサポートセンターの活動についてなどお知らせいたします。京都医報 1 日号と共にお手元に届きますので、是非ご覧ください。ご質問やご意見、ご要望がございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

お問合せ

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news

Vol. 2

2015年7月1日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

一緒に、進みましょう!

独居や高齢者世帯において、新たな疾病や突然の転倒により途端に生活そのものが危機的状況となり、医療の提供もままならないという経験を多くの先生方がされていると思います。私は、このような戸惑いや無力感の繰り返しで、この国で在宅医療という選択が果たして上手くいくのか、正直疑問に感じることがあります。

さて、先生方は突然の在宅ピンチを、どのようにして切り抜けておられますか?

選択肢①ひとまず入院や緊急ショートを頼み込み、状況を見ながら次の一手を考える  
 選択肢②遠くにいる家族に連絡して来てもらい、在宅の継続を試みる  
 選択肢③ケアマネジャーや訪問看護師と協力して何とか在宅で乗り切る 等々、在宅チームと共にまた病院や施設の支援を受けながら、ケースごとにあれこれと可能性を探り、突然のピンチに先生方は大変苦労しながら対応されていると思います。

私は、今後、独居・高齢世帯数が増加することが明らかな状況で、「これ以上選択肢を狭めるような地域医療構想や計画はあり得ない」と強く言い続けると同時に、選択肢を確保するためには、在宅医療の対応力向上が非常に重要で不可欠であると考えます。

私は、自分が患者になった時のことをふと考えることがあります。「がんとの闘いの中、できるだけ自宅で過ごす時間が欲しい!」「もういいです、自宅にいたいんです!!」。もしもこのような希望や決断に応じてくれる在宅医療、訪問してくれる医師がいなければ、私の悲しみ、苦しみはとても深いものになるでしょう。

老いや死に対する備えが後手に回ってしまったこの国で、皆で考え、乗り切ろうとするのが「地域包括ケア」と私は考えています。冒頭の疑問を忘れることなく、多様な選択肢を確保しなければならないと考えますが、在宅医療が「地域包括ケア」の大きな柱であることは間違いありません。

在宅医療の対応力向上、そして京都府の地域包括ケアの支援を目的として本センターは設立されました。地区医師会や関係する皆様と十分に議論し、可能な限りのサポートを行って参りますので、先生方の地域包括ケア、在宅医療へのこれまで以上の参加をお願い申し上げます。

京都府医師会 副会長 北川 靖



# 京都在宅医療戦略会議 報告

2015年4月18日(土)14:30~16:30京都府医師会館にて第1回京都在宅医療戦略会議が開催されました。23地区医師会、担当理事28名の先生のご参加をいただき行政関係団体からは、京都府高齢者支援課地域包括ケア担当課長 片岡様、京都府医療課 医療人材確保担当副課長 山本様、地域包括ケア推進機構 高木様、京都市長寿福祉課長 谷利様、京都市長寿福祉課地域包括ケア在宅福祉担当課長 西川様、5名の参加をいただきました。

京都府医師会から、森会長、北川副会長、關理事、谷口理事、西村理事、在宅医療・地域包括ケアサポートセンター事務局が参加しました。

会議内容は以下の通りです。

◇森会長挨拶 「京都における在宅医療推進を図るため、京都府医師会としても積極的に協力し、十分な議論を行ったうえでシステムを構築していかなければならない。医療資源の不足、とくに介護系の人材不足、医療施設の偏在、地域格差など多くの問題がある。在宅医療・地域包括ケアの推進には、多職種連携が必要であり、そのリーダーとしての地区医師会の役割が大きい。在宅医療にかかわらず患者に求められる内容のケアが提供されるよう戦略会議を活用してほしい。」とご挨拶いただきました。

◇議 題 (司会：關理事)

1. 京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンターの創設について
2. 今年度の研修会等の予定
3. 「地域医療介護総合確保基金」と「介護保険 地域支援事業」について
4. 地区医師会における取り組みについて
5. 在宅療養あんしん病院登録システムについて (京都地域包括ケア推進機構)
6. 意見交換 現状、取り組まれている事業内容や事務局機能など地区による差が大きく、その地区のニーズに応じた個別的な対応が必要であり、今年度の事業計画を実施するにあたり、京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンターを通じて支援していくことを北川副会長よりお伝えしました。



# 広島県医師会視察 報告

2015年5月9日(土)15:00~17:30 広島県広島市において広島県医師会とACP普及への取り組みについての意見交換を行いました。会議のメンバーは以下のとおりです。

- 広島県地域保健対策協議会「終末期医療のあり方検討特別委員会」委員長 本家 好文先生
- 前広島県医師会常任理事 有田 健一先生(三原赤十字病院) 広島県医師会 副会長 檜谷 義美先生
- 広島県医師会常任理事 山崎 正数先生・小笠原 英敬先生
- 広島県医師会事務局 山田 直樹様・答島 裕子様
- 乙訓医師会 理事 梅山 信
- 京都府医師会 副会長 北川 靖・理事 西村 幸秀 / 事務局 萩永・秋葉・鈴木

先駆けてACPについて取り組まれている広島県において、立ち上げから現在までの取り組みについてお話を伺い、京都府医師会開催の「生活機能向上研修」~ACPについて~の講師依頼を行いました。ACP普及に向けては、医師会会員へのアプローチの難しさ、実施するにあたり日常の診療の中では時間がかかり困難であること、実施のタイミングや方法などについて活発な意見が交わされました。



# 地域ケア委員会の報告

## 2年間の取り組み

「看取りと終末期医療について」答申書を作成し、2年間の取り組みを終了しました。

## 3つの提言

- 提言(案)Ⅰ. 老いや死について向き合い、考えることの意味についての啓発
- 提言(案)Ⅱ. 日本人の特性を踏まえた、アドバンス・ケア・プランニングの確立
- 提言(案)Ⅲ. 本人、家族も含め、すべての関係者の共通機能、協働作業である、意思表示、意思決定、緩和・支持機能、ケアの質を向上する

今後、京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンターとして、地区医師会、各関係団体、行政との協働を図りながら取り組んでいきます。

## 平成27年度開催予定の研修のねらい

### ●京都在宅医療塾Ⅰ

医師(かかりつけ医、勤務医、在宅医療に携わる医師、在宅医療に関心のある医師、介護施設等で診療される医師等)、看護職(訪問看護師、退院調整に携わる看護師、高齢者施設に勤務される看護師等)を対象に、従来の「京都在宅医療塾」のステップアップ講座として、在宅医療エキスパート、専門医などを講師に招き座学形式で学習します。本年度は、平原 佐斗司先生を講師に招き、在宅医療について4回シリーズの講座を開催します。

### ●京都在宅医療塾Ⅱ

かかりつけ医に役立つ基本講座とし、在宅医療を実践している医師及び今後在宅医療に取り組む医師を対象に、在宅医療エキスパート、専門医や多職種の方を講師に迎え症例検討やGW、実技講習を行います。地域の在宅医療の要となる、かかりつけ医の在宅療養者への対応力の向上を支援します。

### ●総合診療力向上講座

開業医、勤務医、研修医を問わず、世代を超えて医師の皆様に参加いただく研修です。今年度は洛和会丸太町病院・総合診療科の上田 剛士先生を講師にお迎えし、著書を基に総合診療のトピックや在宅医療に役立つ診断技術などの講義・グループディスカッションを交え、診療力向上を目指します。

### ●生活機能向上研修

患者にとって良質な在宅医療・ケアの提供には、チーム医療と多職種協働が求められます。今回、在宅医療・ケアの質に大きく影響する「食支援」「排泄支援」「ACP」など、生活機能の維持・向上に必要な知識、技術についての理解を深めることができ、多職種との顔の見える関係作りを行うための研修を開催します。

### ●難病研修

難病のよりよい在宅医療の実現に向けて、病診連携や多職種連携を図ることを目的にテーマを設定し、医師と多職種の知識と理解の共有を図る研修を開催します。

## 研修会のお知らせ

### 「総合診療力向上」講座

※4回シリーズで開催いたします。

と き 2015年 7月11日(土)  
午後2時30分~4時30分

と ころ 京都府医師会館2階 212 213会議室

第1回内容 テーマ「高齢者・身体診察①」

講 師 洛和会丸太町病院  
総合診療科/上田 剛士 先生

対 象 医師  
(京都府医師会員、研修医、勤務医、  
介護施設等で診療される医師等)

参加費 無料

### 生活機能向上研修

と き 2015年 7月25日(土)  
午後2時00分~午後4時00分

と ころ 京都府医師会館3階 310会議室

内 容 テーマ 「ACPIについて」

講 師 広島県医師会常任理事  
小笠原 英敬 先生  
広島県地域保健対策協議会「終末期医療のあり方検討専門委員会」委員長  
広島県緩和ケア支援センター長  
本家 好文 先生  
広島県地域保健対策協議会「終末期医療のあり方検討専門委員会」委員  
前広島県医師会常任理事  
有田 健一 先生

対 象 医師、看護職、医療や介護にかかわる多職種

定 員 200名

参加費 無料

### 申込み

京都医報(巻末のサポートセンター通信)、FAX情報、ホームページの専用申し込みフォームにご記入頂き、お申し込みください。

ホームページをリニューアルしました!

<http://www.kyoto.med.or.jp/member/support/index.html>